

総合的な学習の時間（学び）

(1) 目 標

- ① 横断的・総合的な学習によって、考える力をもつ子どもを育てる。
- ② 興味関心から出発し、そこから自らの課題を見つけ、解決する子どもを育てる。
- ③ 各教科の学習で得た知識や技能を生かして、主体的・創造的に学習に取り組む子どもを育てる。
- ④ 自分と社会・自然との関わりについて前向きにとらえ、行動できる子どもを育てる。

(2) 努 力 点

- 子どもが生き生きと自ら学習するすがたを支援する。
(学習への動機づけ、学習の組み立て方、学習の過程)
- 「気づき」をうながす校内外の環境づくりに努める。
(校庭の樹木・地域の人々や自然・公共施設文化財等)
- 「生きる力」をつける単元設定および学習展開や評価のあり方を研究する。
(他教科との関連、単元の学習時間、年間カリキュラムの検討等)

(3) 具体的な取り組み

- 国語科を中心に各教科の学習を深化した主体的、創造的な学習活動
- 校内外環境を教材とした地域学習活動
- 学年の木（校庭の実のなる木）と一年間つきあう学習活動

1年—ダイオウマツ・ビワ	4年—アケビ・ヤマモモ
2年—ユスラウメ・ウバメガシ	5年—ザクロ
3年—ウメ・ミカン	6年—ウメ
なかよし—ウメ	
- ゲストティーチャーを招いた学習活動
・ 学年ごとに学習内容に合わせて行う

(4) 各学年 評価の系統表

	学習への意欲	問題を発見する力	情報を収集する力	自分の考えを表現する力
3年・4年	興味・関心をもったことについて、かかわろうとする。	①自分の関心があることや、いくつかの学習課題の中から、自分の課題を選ぶ。 ②いろいろなもの・ことに対して「なぜ」「どうして」などのこだわりの目をもつ。	①自分の課題にあった本などが分り、図書室などの中から探す。 ②周りの人からインタビュー等を通して資料を探す。	①自分が伝えたいことを、順序よく表現する。 ②自分の目的に応じて、いろいろな表現方法を使う。
5年	興味・関心をもったことについて、考えたり調べたりしようとする。	①他者との話し合いを通していくつかの学習課題の中から、自分の課題を選ぶ。 ②いろいろなもの・ことに対して「なぜ」「どうして」などのこだわりをもつ。	①自分の課題にあった本などが分り、図書室などで探す。 ②インターネットなどから、自分に必要な資料を探す。	①さまざまな表現の仕方を工夫して、自分が伝えたいことを、効果的に表現する。 ②自分の目的に応じて、さまざまな表現方法を使う。
6年	興味・関心をもったことについて、学びへの価値を見い出そうとする。	①自分の学習課題をつくり出す。 ②問いをもつ視点に気づく。 ③自分の学習に価値を見い出し、他者の学習課題の価値に気づいて評価できる。	①自分の生活の場から、課題解決のための資料を見つける。 ②図書室やインターネットなどから、自分に必要な資料を探す。	①だれに・何を伝えたいのかを明確に意識し、効果的に表現する。 ②自分の目的や意図に応じて、いろいろな表現方法を使う。

校庭の樹木

